

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、20～25℃台を示し、やや高めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり21トンの水揚げで、前週の3倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり12トンの水揚げで、前週の52%（前年を下回った）。
- イカ釣――スルメイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり17kgの水揚げで、前週の77%。ケンサキイカは対馬東岸地区では、1日1統当たり66kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、シイラなどが1日1統当たり402kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ヒラマサなどが1日1統当たり215kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ブリなどが1日1統当たり178kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり270kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり19kgの水揚げで、前週の2.1倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（11/9～11/13の5日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、大和堆付近で操業。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～酒田沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）4日延44隻、総計3,930箱、1航海最高198箱、平均89.3箱。スルメイカを漁獲、魚体は（20～30入）。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>